

平成 30 年度 第 1 回 稲城市姉妹都市・友好都市交流協会設立準備会
議事録 【要点記録】

【開催日時】平成 30 年 10 月 23 日（火） 午後 7 時から 8 時 40 分

【会 場】地域振興プラザ 2 階 商工会会議室

【出席者】■委員；出席者 11 人

- ・ 稲城青年会議所（中村 燈氏）
- ・ NPO 法人市民活動サポートセンターいなぎ（角田 享氏）
- ・ 稲城市芸術文化団体連合会（安東 道正氏）
- ・ 稲城市青少年育成地区委員会正副委員長会（石橋 良生氏）
- ・ 稲城市立学校 PTA 連合会（及川 和佳子氏）
- ・ 公募市民（小沢 重郎氏）
- ・ 稲城市教育委員会（城所 正彦氏）
- ・ 公募市民（田中 節子氏）
- ・ 平成 28 年度海外姉妹都市検討市民会議 公募市民（原 忠男氏）
- ・ 公募市民（藤島 亮子氏）
- ・ 稲城国際交流の会（藤田 佑二氏）

<欠席>稲城市商工会（伊原 勇氏）

東京稲城ロータリークラブ（向井 俊右氏）

■行政

- ・ 事務局 5 人（企画部長（芦沢 政美）、企画政策課長（小澤 一浩）、
市民協働課長（笠松 和子）、企画政策課計画調整担当係長（井田 聡）、
企画政策課主事（鶴見 愛）

【開会】

委 員 長：本日はお忙しい中、また、夜分遅くにお集まりいただきまして、誠にありがとうございます。定刻になりましたので、平成 30 年度第 1 回稲城市姉妹都市・友好都市交流協会設立準備会を開催いたします。まず、事務局より、配布資料の確認をお願いします。

井 田 係 長：まず、本日ご欠席のご連絡をいただいておりますので、ご報告いたします。稲城市商工会の伊原委員、東京稲城ロータリークラブの向井委員、以上お 2 人からご欠席のご連絡をいただいています。このことから、ご欠席が 2 名、ご出席いただいている方は 11 名になりますので、稲城市姉妹都市・友好都市交流協会設立準備会設置要綱の規定により、過半数の委員の出席がございますので、本会が成立していることをご報告いたします。

それでは、配布資料の確認をさせていただきます。本日お手元に配布しておりますものは、8 点になります。

①座席表

②次第

- ③資料1：平成30年度 稲城市姉妹都市・友好都市交流協会設立準備会 名簿
- ④資料2：平成29年度第3回姉妹都市・友好都市交流協会設立準備会（平成30年2月6日開催）
- ⑤資料3：平成29年度稲城市姉妹都市・友好都市交流協会設立準備会の検討経過・意見概要
- ⑥資料4：（仮称）稲城市姉妹都市・友好都市交流協会のたたき台（骨子）
- ⑦資料5：アンケート結果
- ⑧資料6：今後のスケジュール

こちらの資料につきましては、本日傍聴の方はいらっしゃいませんが、今後いらっしゃいましたら、同じものをお渡しする予定です。以上8点、過不足等はございませんでしょうか。

【次第1】事務局挨拶

委員長：それでは、次第1『事務局挨拶』、事務局よりお願いします。

芦沢部長：改めまして皆さまこんばんは。本日は、大変お忙しい中、お集まりいただきまして、ありがとうございます。昨年度から引き続き本年度も設立準備会ということでご議論いただくのですが、事務局の体制が4月の人事異動で私、企画部長、企画政策課長、担当者と3人入れ替わっております。引き続きよろしく願いいたします。

こちらに異動してまいりまして、昨年度の皆さまの熱心なご議論をまず議事録で確認させていただき、今年度も引き続きご議論いただけるよう、事務局としてしっかりと対応させていただきたいと考えております。

昨年度は3回の会議を開催いただきましたが、本年度につきましては、2回の会議を予定しておりまして、本日の第1回の会議では、昨年の議論を踏まえた中で、大筋の骨子をまとめさせていただき、次の第2回の会議で、提言書をまとめていただきたいと思いますと考えております。この提言書をまとめていただくまでの過程が円滑に進みますよう、事務局として対応させていただきたいと考えておりますので、どうぞよろしくお願いいたします。

【次第2】自己紹介

委員長：続きまして、次第2『自己紹介』、事務局よりお願いします。

井田係長：本日が平成30年度最初の会議ということでございまして、団体ご推薦の委員の方など、委員の方に交代がございましたので、まずご紹介させていただきます。

稲城市芸術文化団体連合会様からのご推薦委員が、桂田委員から変わり、安東委員にご参加いただいております。稲城市立学校PTA連合会様からのご推薦委員が、下田委員から変わり、及川委員にご参加いただいております。また、公募委員でご参加いただきました、田付委員におかれましては、日常のご活動がお忙しくなったという理由で、本年度より委員を辞退する申し出がございました。従いまして、今回の会議から、総勢13人の準備会となっています。

それでは、改めまして、新しい委員さんもいらっしゃいますので、お名前と一言ずつ自己紹介をいただければと思います。委員長からお願いいたします。

委員長：稲城青年会議所の中村 燈と申します。本来、青年会議所は 40 歳までなのですが、40 歳以上の方が残る仕組みが 2 つございまして、1 つが 40 歳の時に理事長だった方が翌年、直前委員長という役職で残るものです。現在、この立場でおります。また、来年度の人事も決定しておりまして、外部監事という制度があるのですが、そちらで来年また青年会議所でお世話になりますので、当面、青年会議所という肩書で活動させていただきます。つたない司会になりますが、よろしくお願いいたします。

副委員長：NPO 法人市民活動サポートセンターいなぎの理事長として参加させていただいております。サポートセンターは、地域振興プラザの 1 階に事務所がございまして、地域振興プラザの建物の管理並びに市民活動に関することや、先日行われました、I のまちいなぎ市民祭のふれあい部門等の事業の経理・財務を指定管理者として運営している組織でございます。この組織の理事長を仰せつかっております、角田と申します。よろしくお願いいたします。

委員：稲城市芸術文化団体連合会の会長をしております、安東です。よろしくお願いいたします。平成 27 年度には、友好都市提携検討市民会議の委員として相馬市・野沢温泉村の関係で関わっており、両市の視察にも行き、友好都市の締結をしたという経緯がございます。また、平成 27 年度、28 年度は稲城市海外姉妹都市検討市民会議の委員にも入っております、副委員長を務めており、フォスターシティ市の視察にも行ってまいりました。3 市とも新たに締結をすることで、色々な意味で関わってまいりました。

今回、前任の桂田から交代の申出がありましたので、私が再度委員として入らせていただくことになりました。よろしくお願いいたします。

委員：稲城市青少年育成地区委員会正副委員長会を代表して参加しております、石橋と申します。私は、東長沼の地区委員会なのですが、友好都市の締結をした時からこちらの会に関わらせていただいております、できれば、今後交流協会が立ち上がり、フォスターシティ市との友好都市締結がなされるまで関わらせていただきたいと思いますと思っております。

青少年育成地区委員会では、地域の子どもの活動として、デイキャンプや塞の神等のイベントを行っています。また、その他にも、大空町との姉妹都市交流でよさこいソーランをやっておりまして、とても楽しく交流させていただいております。これらの私の経験が何かのお役に立てたらと思っております。よろしくお願いいたします。

委員：稲城市立学校 PTA 連合会から参りました、及川です。昨年は下田さんが委員を務められていましたが、稲城市立学校 PTA 連合会は、PTA を卒業してしまうと関われなくなってしまうので、メンバーが入れ替わっております。稲城市立学校 PTA 連合会では、野沢温泉村や大空町との交流が既にあり、活動をさせていただいております、また、個人的にも海外との交流に興味がありますので、参加させていただいております。

子どもたちの英語教育も小学校で始まっていますし、海外交流の活動も子どもたちの目線に関わっていけたら良いと思っております。初めてなので、分からないことも多いですが、よろしくお願いいたします。

委員：若葉台に住んでおります、小沢です。稲城に住むようになってから 13 年ですが、私は趣味で小学校 2 年から合唱をやっておりまして、今でもほぼ毎週演奏会で歌っております。市民企画提案を活用させていただきまして、稲城ふるさと劇団、ミュージカル i という団体を立ち上げ、活動しております。その他に、男声合唱団コールヴェルディ、ロシア語で

歌う青いペラトークの会としても同じように活動しております。そのようなことで、文化交流の面でお役に立てると思っております。

また、昨年からいなぎ観光案内人のメンバーになっておりますので、そちらでもお役に立てるかなと思っております。なお、国内と海外の添乗員の資格も持っておりますので、こちらの方から海外に団体で旅行に行くというような場合にもお役に立てるのではないかと考えております。よろしくお願いいたします。

委員：こんばんは。稲城市教育委員会委員の城所と申します。どうぞよろしくお願いいたします。私は、平成27年10月からの稲城市海外姉妹都市検討市民会議から参加させていただいております。もう3年が経ち、本当に紆余曲折を経験しながら、やっとここまで来たという感じがしております。今年度2回の準備会ということですので、なんとか、今年度に良い提言ができますよう、期待をしつつ参加させていただきたいと思っております。よろしくお願いいたします。

委員：藤田と申します。稲城国際交流の会からこちらの会に参加させていただいております。稲城国際交流では、海外ということで、アメリカのバーモントのフォーキッズだとか、アーカンソー大学、オレゴン州のユージン学園、中国の稲城県との交流を行ってきたというような関係もありますので、この場にいるのだらうと思っております。何かお役に立つことがあればと考えております。よろしくお願いいたします。

委員：藤島と申します。昨年から公募市民として、こちらの会に参加することになりました。お役に立てることは特にないかもかもしれませんが、国際交流に興味がありまして、この会に参加させていただいております。よろしくお願いいたします。

委員：皆さんこんばんは。平成28年度海外姉妹都市検討市民会議から参加させていただいております、原と申します。昨年の1月は安東委員と一緒にフォスターシティ市の視察に行かせていただきました。今回と次回で提言書をまとめるということですので、良い案が皆さんから出ることを期待しております。よろしくお願いいたします。

委員：公募市民の田中と申します。私は、学生の頃海外に住むことがありまして、都庁の外国人相談員として30年近く勤務しておりました。それ以外にもボランティアでAFSという留学制度があるのですけれども、その制度を活用してホストファミリーになったり、その生徒たちを学校とホストファミリーとを繋ぐような役割のボランティアをしております。海外交流に興味がありまして、応募させていただきました。

井田係長：ありがとうございます。続きまして、事務局の紹介をいたします。企画部長の芦沢でございます。

芦沢部長：芦沢でございます。よろしくお願いいたします。

井田係長：企画政策課長の小澤でございます。

小澤課長：小澤です。よろしくお願いいたします。

井田係長：市民協働課長の笠松でございます。

笠松課長：笠松でございます。よろしくお願いいたします。

井田係長：企画政策課主事の鶴見でございます。

鶴見主事：鶴見です。よろしくお願いいたします。

井田係長：最後に、私は、企画政策課計画調整担当係長の井田でございます。どうぞ、よろしくお願

いたします。

【次第3】昨年度の検討結果について

委員長：ありがとうございました。続きまして、次第3『昨年度の検討結果について』、事務局から説明をお願いします。

小澤課長：それでは『昨年度の検討結果について』、私からご説明いたします。

[資料2『平成29年度第3回姉妹都市・友好都市交流協会設立準備会（平成30年2月6日開催）』に基づき説明]

[資料3『平成29年度稲城市姉妹都市・友好都市交流協会設立準備会の検討経過・意見概要』に基づき説明]

委員長：ご説明ありがとうございました。検討結果についてということで報告いただきましたが、ご意見等ある方いらっしゃいますでしょうか。

<意見・質問なし>

【議題1】（仮称）稲城市姉妹都市・友好都市交流協会のたたき台（骨子）について

委員長：それでは議題1『（仮称）稲城市姉妹都市・友好都市交流協会のたたき台（骨子）について』に入ります。

先ほどの説明でもありましたが、昨年度の議論では、事業内容についてじっくりとご議論いただきまして、たくさんのご意見をお出しいただきました。それを私と角田副委員長、事務局で、できる限り皆様のご意見を集約させていただいて、新たな『たたき台（骨子）』を作成いたしました。準備会としてはこれから提言をまとめていくという中で、前の議論の繰り返しではなく、意思統一をして、決定していくようなご意見をいただけると大変助かります。

それでは、事務局より説明をお願いいたします。

小澤課長：それでは、資料4『（仮称）稲城市姉妹都市・友好都市交流協会のたたき台（骨子）』に基づきまして、ご説明いたします。

[資料4『（仮称）稲城市姉妹都市・友好都市交流協会のたたき台（骨子）』に基づき説明]

■「1. 目的」について

委員長：ありがとうございます。それでは資料4『たたき台（骨子）』につきまして順番に審議してまいりたいと思います。「1. 目的」について、何か意見がある方は挙手願います。

<意見・質問なし>

委員長：それでは、「1. 目的」については、たたき台（骨子）のとおりでよろしいでしょうか。ご承認をいただける方は挙手願います。

<挙手全員>

委員長：挙手全員ですので、こちらの内容でご承認ということといたします。

■「2. (仮) 交流協会の役割」について

委員長：それでは「2. (仮) 交流協会の役割」について、何か意見がある方は挙手願います。

委員：国内交流委員会、海外交流委員会、地域交流委員会とありますけれども、理事会の中からそれぞれに役員を出すというイメージでよろしいのでしょうか。

委員長：事務局、いかかでしょうか。

井田係長：詳細については、今後決定していただくことと思いますが、理事の方も各委員会に入っていただくことを想定しています。理事をやっただけの方は交流事業に関して熱心な方だと思いますので、是非委員会の方にも参加いただいて、企画・運営に携わっていただければと思っております。

委員：それは全部の委員会に参加しなければならないということでしょうか。興味のある委員会のみでしょうか。

井田係長：興味のある委員会のみと考えております。

委員：むしろ逆で、各委員会の委員長が理事になるというような形がよろしいのではないのでしょうか。そうでないと、理事が選出されていない委員会が生じてしまうと思います。

芦沢部長：昨年度のご議論の中でも、場合によっては2つの委員会に関わることがあってもいいのではという意見も出されておまして、役員の方たちは必ず関わるということで理解しております。

委員：組織のところがよく分からないので、具体例を挙げて質問します。例えば、正会員になったとして、3つの委員会を選ばなければならないので、1つ選んで入るとします。その上で、役員会に入るとすると、委員会は3つ参加しないといけないのでしょうか。

委員長：先ほどの事務局の説明ですと、役員会ありきなのか、正会員ありきなのか、ということをございますけれども、3つに参加しなければならないということではないと思います。

委員：では、会員と委員会は繋がっているけれども、理事会と役員会は繋がっていないというような理解なのでしょうか。

小澤課長：「理事会」は、会長、副会長、理事、会計を言います。「理事会」に、監査的な役割を果たす「監事」を含めた会を「役員会」としております。会長、副会長、理事、会計のみで集まる場合については、「理事会」、監事が参加する場合を「役員会」として運営していくようなイメージでおります。

委員：では、やはり、会員と委員会は繋がっているけれども、理事会と役員会は繋がっていないという理解でよろしいのですね。

委員：委員会の代表が役員会に参加するのではないのでしょうか。

委員長：そうですね。一般的には委員会には委員長が必要かと思っておりますので、委員長は理事会に参加するべきと考えます。

委員：理事会は、各委員会の中から代表が出て構成されるとのことでしたが、何人くらいのイメージなのでしょうか。各委員会の代表のみで構成すると3人しかいないので、それでは少ないような気がするのですが。

芦沢部長：まず、本準備会の委員の方が中心となって理事会を作っただけであればと思っておりますので

すが、その中で3つの委員会の事業についても話し合っていくこととなりますので、理事会に参加いただいている方は当然に各委員会のトップクラスの役割を担っていただいて、その上で会員を募集するというイメージになるかと思います。

委員：では小沢委員のご意見と全く逆のイメージということですか。

委員：ポリシーを決定するのが理事会で、実働部隊が委員会ということだと思います。

委員：どちらでもいいと思うのですが、そこを明確にしておかないと、組織を作る際にまとまりがなくなってしまうと思います。

委員：兼任するのか、しないのかによって、全く違うものになってきてしまうと思います。事務局、委員長、副委員長がどういったイメージでこの組織を考えているのか見えません。

委員長：委員長、副委員長、事務局としては、先ほど企画部長からご説明いただいたようなイメージであります。

委員：それはそれでいいと思います。

副委員長：理事会の構成をどうするのかによろしいと思います。議決機関に徹するのか、あるいは現場と繋がっていないといけないので理事構成の中に各委員長が入るとするのか、理事の構成が何名くらいになるか、その辺りの運営方法については次の議題と考えております。

委員：どのくらいの会員数かによって、役員会の規模が決まると思います。会員が少ないのに役員が多いというのはおかしい話だと思います。

委員：「2. (仮) 交流協会の役割」の記載は、「熱意をもって」等、表現が抽象的でよく分かりません。例えば箇条書き等で記載できないのでしょうか。

委員：原委員が仰られたとおり、箇条書きで記載しないとよく分からないと思います。事務局を批判する訳ではありませんが、このような記載方法では何を言っているのか非常に分かりづらいです。箇条書きで記載すれば、交流協会の目的がすぐ分かると思います。

委員：具体的に何をやるかは、委員会の中で決めていくことではないでしょうか。抽象的になるのはやむを得ないと思います。

委員：何のためにこういった協会を作るのかということは、具体的に考えていかなければならないと思います。

委員：私も過去の姉妹都市の提言あるいは海外姉妹都市の提言を見てきましたが、文章のスタイルはこのような感じで書かれていました。おそらく、提言をする前段の骨子としてこのような書き方をされたと思うのですが、事務局いかがでしょうか。

井田係長：その通りでございます。昨年度の会議で、そもそも交流協会はどのような事業をどこまでやるのかといった、目的や役割を次年度は明確にしようということをご意見としていただいていたところです。

そのため、昨年度のご議論を踏まえ、役割を「2. (仮) 交流協会の役割」として示させていただきました。文章になってしまっても大変恐縮ではございますが、あくまでも、姉妹都市・友好都市の様々な文化がある中での交流事業を市民のために行っていくということを明確にお示しさせていただいたものであります。昨年度、在住外国人支援を行っていくかどうかといったご議論がありましたが、在住外国人支援を行っていくのが役割ではなくて、地域との交流である「文化交流」が役割であるということをご示しさせていただきます。

委員 長：提言に向けた骨子案としての文章ということでもよろしいでしょうか。

井田係長：そのようなことになります。

委員 長：他に役割について、ご意見ある方いらっしゃいますでしょうか。

委員：「市民へのアドバイスや～」と書かれているところがありますが、これは、会員を言うのでしょうか、それとも会員ではない一般の市民なのでしょうか。

委員 長：会員ではない一般の市民という意味になります。

委員：分かりやすい書き方ということになりますと、将来こういう形にする等のビジョンを記載いただくと非常に分かりやすいと思います。そのようなものがないと、どうしても抽象的になってしまうと思います。組織として何人くらいの規模を考えているとか、このくらいの時期になったら、このようなことを考えていく等を記載いただくと良いと思います。

委員：正式に会員募集して、会が立ち上がってから、メンバーで何をやりたいのか話し合わないとか具体的なものは出てこないと思います。あくまでも、立ち上げるまでのプロセスということであれば、この書き方でいいのではないのでしょうか。

委員：会員が何人くらいだとか、各論を話し合うと議論がまとまらなくなってしまうですね。

委員：我々準備会のミッションというのは、あくまでも提言を出すまでだと思いますので、やはり各論を議論するのではなくて、総論を議論することが必要だと思います。骨子の「2. (仮) 交流協会の役割」部分については、このような記載で致し方ないと思います。後は、藤田委員が仰られた通り、どういう項目を入れるかを議論していった方がいいのではないかなと思うのですが、いかがでしょうか。

委員 長：色々のご意見をいただきましたが、今回のたたき台（骨子）をまずはお認めいただいて、最終的にどういったものにしていくのかは、いただいたご意見を踏まえまして、持ち帰らせていただくということはいかがでしょうか。

芦沢部長：ビジョンを入れた方がいいのではないかな等、様々のご意見をいただきましたが、事務局としては、そのようなご意見を踏まえまして、提言のたたき台を作成させていただきたいと考えます。その上で、皆さまに確認、修正等いただく方向で対応させていただければと存じます。

委員 長：そうしましたら、この方向性でご承認いただけますでしょうか。

委員：この項目で提言を作成するというのでしょうか。

委員 長：この方向性で提言を作成していくということです。

それでは、「2. (仮) 交流協会の役割」についてご承認いただける方は挙手願います。

委員：今後、もう少し内容を検討していくとのことでもよろしいのでしょうか。

副委員 長：委員長の発言としては、今皆さんからご指摘いただいた、ビジョン等をもう少し整理した上で、現在の骨子をベースにして修正したものを提案させたい。これについてご理解いただけますか、ということでしょうか。

委員 長：そのようなことになります。

委員：先ほど質問させていただきましたが、広く一般市民が海外や野沢温泉村等と交流をしたいと思ったときに、会費を払わないでこの協会にアドバイスを貰えたり、コーディネートしてもらえるとということであれば、会費を払って、この会に参加する人がどれだけいるのだろうかと思います。

また、先ほどどなたかが、会員の規模をご質問していたかと思いますが、私もその点については疑問に思います。会員が少ないのであれば、会費があってもなにもできないと思いますし、この会に参加することでアドバイスを貰えたり、コーディネートしてもらえというメリットを享受するために会費を払うのであれば分かるのですが、この会にどういった人が参加して、どういったメリットがあるのか分からなかったで、手を挙げられません。その辺りについてご説明いただけるのでしょうか。

井田係長：運営側となる会員が会費・費用を負担するという部分についてのご質問だと思いますが、交流協会は市民が主体となった団体ですので、お金についても会費の中で賄っていくのが他の事例を見ても一番よろしいのではないかと考えているところです。市民の方には、既にホストファミリー等の交流を実際にやられている方や、海外との交流経験が豊富な方もいらっしゃると思います。そういった方たちが1つの組織としてまとまって、交流の機会を与えられるような場が、交流協会のイメージでありますので、例えば、「自分たちの知識・経験を活用して、青少年に交流の機会を与えてあげる活動をしたい」という思いを持った方たちが、会費をお支払いしていただき、運営していくのが基本的な考え方です。

しかし、協会の運営や交流事業を実施するためのお金をすべて会費で賄っていくというのは難しい部分があると思いますので、運営のお金の詳細については、今後検討しなければいけない課題と認めているところではあります。

副委員長：会員になってどのようなメリットがあるのかという点と、交流協会として市民に向けてどのような事業を行っていくのかという点の2つの見方があると思います。そこはそこで割り切るしかないかと思っています。

会員になる人は、この協会にどういった期待と希望を持って会員になるのか、例えば、協会として市民に向けて交流促進のためにどういった事業を行っていくのか、という「事業」としての視点と、会員になるメリットを作って、魅力的な会にして会員を広げていくという視点など、いくつかの視点があると思います。これについては前回はそのような議論がありました。会員になるメリットとは何かということ、また、それに伴ってどのような規模で運営するのも議論もあったところです。その辺りの運営の仕方も課題として出てくるのかなというのが前回までの話の経過となっています。

委員：及川委員のご意見は非常に重要な視点だと思います。1つの例として申し上げますと、稲城市芸術文化団体連合会は、現在会員が約80名おります。先日開催されました、Iのまちいなぎ市民祭における文化祭が我々の事業の中で一番大きいものですが、1,180名の参加者がおりました。その中で会員は80名しかおりません。結局どういったことかと申しますと、「会員にならなくても、500円払えば文化祭に参加できるじゃないか」ということなのです。では、会員のメリットは何なのだろうかということになりまして、理事会で頭を悩ませているところです。

スタートの時にメリットを明確にしておかないと、なかなか会員は増えないと思いますし、お金の面で運営が行き詰ると思います。その部分は進めながら、十分に考えていけないといけないので、この準備会に参加している方で知恵を絞って作っていったらいいのかなと思います。

委員長：メリットの問題なのか、魅力の問題なのかということもあります。稲城青年会議所も

金を払ってボランティアをしているのかとよく言われるのですが、やはり運営に携わって地域のために何ができるのか考えてアクションを起こしていくところが魅力なのかと思いますので、交流協会もそういった魅力を感じていただける会にしていけたら良いと思います。

委員：では、採決したらどうでしょうか。

委員長：「2. (仮) 交流協会の役割」についてご承認いただける方は挙手願います。
＜挙手全員＞

■「3. 組織の名称」について

委員長：それでは、「3. 組織の名称」について審議して参りたいと思います。別紙5『アンケート結果』Q. 1でご提案いただいた名称の中から、決めてまいりたいと思いますが、名称につきましては、以前の会議の中でもいろいろご意見をいただいていたところがございます。決め方などを含め、その辺りを事務局の方でご説明いただけますでしょうか。

小澤課長：名称に関しましては、昨年度の会議の中で、色々ご意見いただいております。そのポイントとしましては、大きく3点ございます。

1点目は、誰が聞いても、事業内容がすぐにイメージできる名称であること。つまり、姉妹都市と友好都市との交流が主たる事業であることが理解できる名称であること。

2点目は、組織名称として文法などに違和感がないこと。例えば「・」が付くのは相応しくないのではないかというご意見がございました。

3点目は、愛称については、運営が開始されてから決めていってもよいこと。

このようなポイントを踏まえると、「①稲城市姉妹友好都市交流協会」、「④稲城市姉妹友好都市交流促進協会」の2つが相応しいと考えますので、この2つの中からお選びいただくのが良いと思います。

委員長：ありがとうございました。以前の会議の議論をまとめると、「①稲城市姉妹友好都市交流協会」、「④稲城市姉妹友好都市交流促進協会」のどちらかが良いのではないかという説明でした。私も、このどちらかから選ぶということで良いかと思いますが、いかがでしょうか。何か意見がある方は挙手願います。

委員：姉妹都市と友好都市で重複するのが気になります。ひとつでいいのではないかと思いますので、「⑤稲城姉妹都市交流協会」がいいと思います。「④稲城市姉妹友好都市交流促進協会」は長すぎるのではないかと感じます。

委員長：友好都市は外しても問題ないのでしょうか。事務局いかがでしょうか。

小澤課長：事務局としては、姉妹都市として大空町があり、友好都市として、相馬市、野沢温泉村がありますので、長くはなりますが、「姉妹都市・友好都市」と両方記載した方がしっかりとした名称になると考え、ご提案させていただきました。

委員：提案された2つだと、国際交流事業を行うことが名前から分からないので、「⑩稲城市国際・国内都市交流協会」がいいのではないかと思います。ここにいる委員の方は、国際交流をすることは分かりますけども、一般市民は分からないと思います。

委員：「⑦稲城市交流協会」はいかかでしょうか。

委員：交流協会を設置するにあたって、立ち戻って考えなければならないのは、平成28年度の

稲城市海外姉妹都市検討市民会議の提言だと思います。海外姉妹都市と締結をするという提言と、交流協会を立ち上げた方がいいという提言が2つあります。この準備会はこの検討市民会議の提言が基になってあるわけですから、あくまでも、姉妹都市はフォスターシティ市ありきということによろしいのですよね。まだ正式な締結には至っていませんが、フォスターシティ市が今後姉妹都市になるということを前提に、交流協会を立ち上げるという考え方ですので、海外で姉妹都市というと、フォスターシティ市ということで私は理解したのですけれども。

委員：組織名称は、昨年度準備会で議論した結果なのですか。

委員長：これは昨年度実施したアンケート結果になります。

委員：そうなのですね。「①稲城市姉妹友好都市交流協会」でいいのではないのでしょうか。

委員：稲城市観光協会が今年の6月にできました。観光協会はそれだけですぐに内容が分かりませんが、交流協会は国内と海外があります。

委員：一般的には、単なる「国際交流協会」というような名称です。

副委員長：今回の交流協会が海外だけであれば、「国際交流」「海外姉妹都市」という表現になると思いますが、国内も含めておりますので、その共通項が「姉妹都市・友好都市」ということになります。長く言えば、「海外国内姉妹都市～」等言うのですが、そういうわけにはいかないでしょうから、そこは少しやり難いところです。

委員長：先ほどの説明にもありましたが、愛称やサブタイトルというものは後から付け足すことも可能ということになっています。

委員：英語に直すと、姉妹都市、友好都市は意味としては重なるので、姉妹都市と友好都市の表現は一つにした方が良くと思います。

副委員長：訳せないものもありますので、日本語と英語は分けて考えていただいて構いません。

委員：私は、「⑤稲城姉妹都市交流協会」が良いと思いました。また、サブタイトルか何かは、「稲城国際～」等を入れれば良いと思いました。

委員：大空町と相馬市、野沢温泉村の立場は違いますし、「姉妹都市」「友好都市」は外せないと思います。先ほど角田副委員長が仰られた通り、日本語と英語の名称を切り離して考えるのがよろしいと思います。

委員：その辺りの区別を出さないために、「⑩稲城フレンドシップ交流協会」を私が提案させていただきました。

委員：やはり、「①稲城市姉妹友好都市交流協会」でいいのではないのでしょうか。

副委員長：英語にした時のことと、愛称については今後検討するという事で、「①稲城市姉妹友好都市交流協会」、「④稲城市姉妹友好都市交流促進協会」、「⑤稲城姉妹都市交流協会」で採決してはいかがでしょうか。

委員長：では、「①稲城市姉妹友好都市交流協会」、「④稲城市姉妹友好都市交流促進協会」、「⑤稲城姉妹都市交流協会」で採決いたします。

「①稲城市姉妹友好都市交流協会」がよろしいと思う方は挙手願います。

続きまして、「④稲城市姉妹友好都市交流促進協会」が良いと思う方、挙手願います。

続きまして、「⑤稲城姉妹都市交流協会」が良いと思う方、挙手願います。

ありがとうございました。事務局、結果の報告をお願いします。

井田係長：「①稲城市姉妹友好都市交流協会」が7票。「④稲城市姉妹友好都市交流促進協会」が0票。「⑤稲城市姉妹友好都市交流協会」が3票となりました。

委員長：ありがとうございます。それでは得票の多かった「①稲城市姉妹友好都市交流協会」を組織の名称と決めます。

■「4. 組織・事業」について

委員長：それでは、「4. 組織・事業」について審議いたします。ご意見のある方は挙手願います。

委員：さっきの議論でもありましたが、個人が会費を払ってこの会に入るのでしょいか。それは少し難しいと思います。自分が参加している会に寄附をするということはありますけれども、個人としてはボランティアをするということが多いので、そこまでして入ってくださいますかと言えらるかだと思います。

委員長：例えば、イベントを開催してそこに来ていただくのは、会員の方でなくても来ていただければと思います。ただ、そのイベントを企画・運営するのは正会員の方にやっていただくイメージなので、参加だけでいいのであれば、会員の方でなくても来ていただければと思います。

委員：イメージがなかなかつかみにくいのかもかもしれません。稲城市芸術文化団体連合会も会員が80名しか集まっていないとお話しましたが、参加している方は、ボランティア精神がある方が入っていて、芸術文化に携わって、かつ、色々なお世話をしたいという方です。会費は2,000円となっています。活動的には、一生懸命やる方が理事になっています。

委員：組織のオペレーションの部分がどういうことをやろうとしているのか、よく分かりません。会員を集めるということですが、国内と海外とではやることは別ですから、それをどういう風にひとつの協会としてやろうとしているのか、絵を描いていただきたいと思います。国内はこの前の市民祭でも交流して物を売ったり、交換したり、もう既に色々やっています。それにお金が掛かっているのかよく分かりませんが、フォスターシティ市とやるにしても、どういう風にやっていくのかイメージがないといけません。

委員：委員会制ですので、委員会で決めないとはいけません。海外と国内とでは全然違いますし、この場では決まらないと思います。

委員：まさにその通りだと思います。例えば、フォスターシティ市と正式に協定が締結できたとしたら、行ったり来たりが出てきます。その時に、行く場合には誰が向こうに行って何をするかですとか、逆に来られた時に、歓迎式典やイベント等をやるか、それは具体的なアイデアがなければできません。立ち上がったからのことだと思います。

委員：委員会と言っても、このメンバーが委員会になるのではないですか。

委員：あくまでも中核になるということだと思います。

副委員長：なつてほしい、ということです。私たちは、交流協会が「どうあるべきか」という提言を出すところまでの担当です。今お話があるように、規模や予算も分からない、事務局体制もまだ不透明の中での議論となっていますが、ただ言えることは、3分野にそれぞれ関心のある会員の人に会費を払って入っていただいて、事業を構築してもらうことになるということです。

骨組みとしては、このような形ですが、予算規模が未定なので、少し分かりにくいところ

ろはあります。ですから、市民が主体と言われても困るところもあるので、少し行政の方も協力していただかないとできないかと思います。

各委員会で、限られた財源の中でどういう交流促進が市民にとっていいのかということ立案するしかないのかもしれませんが。

委員：交流協会設立にあたっての決定事項ではなく、こういったスタイルが良いのではないかという、あくまでも提言の部分ですので、具体的なものは提言の後に議論していくことになってくるのかと思います。

委員：今既に動いている国内交流事業に係っている方は、この中にいらっしゃるのでしょうか。それとも、これからこの会に入られるのでしょうか。

副委員長：私たちが今まで検討しているのは、交流協会という組織についてどのような組織にするかということを決定するためであり、どのような形にするのかという案をまとめるのが役割と思っています。具体的な協会設立に向けての準備は次の段階という風に考えています。そのために、ここにどのような人が入ってくるとか入ってこないとかは別の話と思っています。

委員：先ほど、提言なのである程度抽象的な形でいいのだという話がありましたが、提言を受けた方が困らないでしょうか。誰が決めるのでしょうか。

委員：資料6『今後のスケジュール』を見ると、平成31年度に発足される「運営準備会」で運営方法等、いわゆる具体論に入ってくるのではないのでしょうか。詳細の事業内容等は、運営準備会が発足した段階で議論していく話であって、あくまでも我々が市長に提言しなくてはならないのは、「こういった協会を作った方がいいのではないのでしょうか」というところまでであり、それが我々のミッションだと思います。

委員：「協会を作った方がいいですよ」とはどういうことでしょうか。

委員：協会のモデル、スタイルとして、こういうものが良いのではないかということです。これも今後のスケジュールに書いてあるのですが、要するに、事業内容、組織体制、運営方法に関して、調査・検討して市長に提言するというのが我々のあくまでもミッションであって、次の段階は31年度ということで、よろしいのではないのでしょうか。

委員長：提言を今回と次回でとりまとめるということになっていて、次回にはもう提言の案を出す必要があると思いますので、今回この骨子の方向で、提言をとりまとめていいかというご承認を1つずついただいているところです。

理事会を置くとか役員会を置くとかそういうところは一般的な組織のものなので、この核となるのは先ほど角田副委員長が仰られたように3つの委員会を置くということだと思います。ですので、この点についてある程度ご承認いただけるかということが大事になってくるかと思います。

副委員長：今ご発言のあったように理事を何名にするですとか、副会長は若干名なのか、会費はどうするのかといった議論をやると厳しいだろうということで次の方に委ねる。ただ、理事会制にしたほうがいいのか、委員会はこれまでの経過で3委員会にするですとか、そういうところまでを決めていくべきなのかなと思います。

委員：資料6『今後のスケジュール』を見ると、運営準備会に設立準備会の委員に継続して参加してもらいたいと書いてありますから、今日の議論はあくまでもたたき台ベースでまとめ

て、この先の議論は運営準備会の方で行ってくださいということだと思います。

小澤課長：我々もその様に考えております。何人かの委員の皆様からは早く方向性を決定してほしいとご要望いただいております。昨年度までに色々ご意見いただいておりますので、その内容を整理し、お示しさせていただいたのが、こちらのたたき台（骨子）であり、この3つの委員会になります。細かい部分は資料6で後ほどお話をさせていただきますが、本日お決めいただきたいことは、この3つの委員会というのが核の部分となっております、ご説明させていただいた次第です。

委員長：よろしければ「4. 組織・事業」と「5. 運営」についても役員を中心に運営すると先ほど何度かお話している内容ですので、こちらについて特段のご意見がなければ、骨子として承認いただけたらと思うのですが、よろしいでしょうか。

委員：「4. 組織・事業」の中の、委員会の部分で、「※正会員はいずれかの委員会に所属し～」とありますが、「いずれかの」と記載されていると、ひとつしか参加できないのかなと捉えられる可能性があると思います。「いずれかの」という文言を外すことはできますか。

委員長：事務局、これは対応可能でしょうか。

井田係長：興味がある分野が2つにまたがる方は、是非2つの委員会に入っていたきたいと思しますので、「いずれかの」というところは外させていただければと思います。

委員長：では、「いずれか」という文言を外した形を骨子として審議していただければと思います。ご意見いかがでしょうか。

委員：会員というのは、必ず委員会に属するのでしょうか。例えば、1,000人集まったとして、全員が入るとなると大変なことになると思うのですが。

副委員長：1,000人の委員会ではできませんから、どういう風な運営の仕方をするのかは課題です。委員会に所属することを骨子に書くのか、書かないのかいかがでしょうか。

委員長：「希望する委員会に所属することができる」等、義務のようにしない記載方法はいかがでしょうか。

委員：会費を払うけども、無所属ということもあり得るのですか。

委員：その区分は「支援会員」ということになります。

委員：3つの委員会がありますが、その委員会を統括するのは委員長になるのでしょうか。また、委員長を統括するのは、どこなのでしょうか。

委員：委員会を統括するのは委員長、委員長を統括するのは理事会です。

芦沢部長：「5. 運営」の部分に記載しておりますが、役員を中心に協会を運営し、各委員会及び役員は情報共有しながら活動を行うということになっています。

副委員長：理事会という名称で、会長、副会長というのが少し気になります。一般的には、理事会というのであれば、理事長、副理事長となります。

委員：そうとも限らないと思います。稲城市芸術文化団体連合会も、理事会だけれども、会長、副会長としています。

委員：委員会ではなく、「部会」という表記がよろしいかと思ったのですが、いかがでしょうか。

委員：そこは言葉の使い方ですね。どちらでも良いかと思いますが、委員会でのよろしいのではないのでしょうか。

細かいところですが、委員会の中の、「③地域交流委員会」の事業として、「市民祭での

出店等」とありますが、「出店」に加えて「出演」も記載した方がいいと思います。

小澤課長：分かりました。

委員長：ありがとうございます。今いただいた細かい文言の修正は、事務局にお願いするということ为前提に、「4. 組織・事業」と「5. 運営」について、審議いただきたいと思うのですが、よろしいでしょうか。

では、賛成いただける方は挙手願います。

<挙手全員>

【議題2】今後のスケジュールについて

委員長：それでは、議題の2『今後のスケジュールについて』、事務局より説明をお願いいたします。

小澤課長：それでは、今後のスケジュールについてご説明いたします。資料6をご覧ください。

[資料6『今後のスケジュール』に基づいて説明]

説明のとおり、本日まで、時間をかけてしっかりとご議論いただきましたことから、残り1回の会議で、準備会としての結論を提言書としておまとめいただきたいと思います。次回、第2回目の会議では、提言書の素案を皆様にご提示し、内容のご確認をいただくことを予定しています。

平成31年度（仮称）稲城市姉妹都市・友好都市交流協会運営準備会の検討事項にもございますように、事務局体制や事務室はどうするか、会長・副会長の人事はどうするか、運営費はどうするかなど、これから決めていかなければいけない細かい部分はございますが、本日のご議論で大枠の骨子はお決めいただきましたので、提言書を作成する時点で決めなければいけない内容については、概ね出揃ったと考えています。

今後は、委員長、副委員長と事務局で相談させていただきながら、提言書の素案を作成し、第2回会議の前のできるだけ早い時期に事前に皆様にご確認いただけるように進めてまいりたいと思います。

委員長：ご説明ありがとうございます。今後のスケジュールについて、何かご意見等ある方いらっしゃいますでしょうか。

委員：1つ確認なのですが、海外事業が入っているのは承知したのですが、フォスターシティ市の動きについての情報が全然入ってこないのですが、その後、どうなのでしょう。

小澤課長：具体的にお知らせできるような動きは現状ではないところでございます。また動きがあればお知らせいたします。

委員：分かりました。

委員長：他にご意見等ある方いらっしゃいますでしょうか。

<意見・質問なし>

【議題3】その他

委員長：議題の3『その他』について、事務局より説明をお願いします。

井田係長：皆さん、ご議論ありがとうございました。次回、第2回の会議の開催について、ご説明させていただきます。

第2回の開催につきましては、年明けの1月頃を考えております。それまでの間、約2ヶ月半ありますので、その間に委員長、副委員長と事務局で提言書の素案を作成し、なるべく早い段階で皆様にはご郵送によりお届けさせていただきまして、事前に内容をご確認いただける時間をとれるようにいたしたいと思っております。1月の第2回の会議では、ご確認いただいた内容でご議論いただき、完成版の提言書として、おとりまとめいただければと考えております。

詳細の開催日につきましては、別途、お電話等で日程のご調整をさせていただきます。

委員長：最後に何か連絡やご質問のある方はいらっしゃいますか。

<意見・質問なし>

それでは、平成30年度第1回稲城市姉妹都市・友好都市交流協会設立準備会を終了いたします。